

令和5年度 学校経営計画

長瀬町立長瀬第一小学校

1 学校教育目標

○深く考える子（知） ○心豊かな子（徳） ○たくましい子（体）

2 校訓

「至誠（しせい）」＝まごころを尽くし合い

「協和（きょうわ）」＝みんな仲よく

「修行（しゅうぎょう）」＝たゆまず学び続ける

3 めざす学校像

まごころを尽くし合い、みんな仲よく、たゆまず学び続ける、元気あふれる学校

4 めざす児童像

まごころを尽くし合い、みんな仲よく、たゆまず学び続ける児童

■元気なあいさつ・元気な返事ができる児童

（相手に届く声の大きさで。あいさつ、返事、授業中の発表）

■温かい言葉かけや丁寧な言葉づかいができる児童

（友達に対する温かい言葉、話す相手や場面に応じた言葉づかい）

■互いによさを認め合える児童

（よいところを見つけ、伝える）

■学習規律を守り、真剣に学ぶ児童

（授業の準備を整える、時計を見て行動する、姿勢を正して話を聴く）

■すすんで家庭学習や読書に取り組む児童

（家庭での学習や読書の習慣を身に付ける）

5 めざす教師像

まごころを尽くし合い、組織の一員として、たゆまず学び続ける教師

■児童ととことん向き合う教師

（児童に寄り添い、そばで励まし、がんばりを見届ける）

■児童のよさを見つけ、伸ばす教師

（褒める種をまく、よさを認め合う学級経営）

■互いをリスペクトし合う教師

（職員一人一人が「チーム長一」にとって重要な一員）

■知恵を結集して、共に汗を流す教師

（アイデアを出し合い、目標を共有して、全員で汗を流す）

■謙虚な姿勢で学び続ける教師

（児童とともに、日々成長しようとする姿勢）

☆教師こそ、児童にとって最大の教育環境である。

6 学校経営方針

- (1) 児童が主役となる教育活動を進め、元気あふれる学校を作る。
- (2) 教育の基本姿勢として、すべての教職員がカウンセリングマインド(※1)を持ち、児童の自己肯定感を高める。
- (3) 教え、考えさせ、見届ける指導を行い、児童に確かな学力を身に付けさせる。
- (4) 地域の教育資源を活かし、「ふるさと教育」(※2)を推進し、児童に郷土愛を育成する。
- (5) 小学校統合の円滑な実施に向けて、児童の交流等、準備を整える。

7 本年度の重点目標

<深く考える子>

○家庭学習の定着（低学年30分、中学年40分、高学年60分以上）

- ・家庭学習重点期間における目標学習時間達成率 90%以上
- ・児童アンケート、保護者アンケート A+B 90%以上

○読書の習慣化（低学年100冊、中学年40冊、高学年20冊）

- ・学年の目標読書冊数達成率 100%
- ・児童アンケート、保護者アンケート A+B 90%以上

○教え、考えさせ、見届ける指導の徹底

- ・長瀬町「学力向上の共通テーマ」の視点に沿った授業改善を行う。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 本時の学習のねらいを児童が理解できるように工夫する。<input type="checkbox"/> 学びを深めるため、児童が考える場面と教師が教える場面を適切に組み立てる。<input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、学び合いの機会を適切に設ける。<input type="checkbox"/> ねらい・課題に正対したまとめ、児童の言葉を使ったまとめをする。(全員で)<input type="checkbox"/> 次時や日常生活につながる振り返りをする。(一人一人で)<input type="checkbox"/> 学習の効果を高めるため、ICTを積極的に活用する。 |
|--|

○正しい姿勢と話の聞き方の徹底

- ・集中して話を聴く場面での「ゲー・ペタ・ピン」の徹底。
- ・児童アンケート A+B 90%以上

<心豊かな子>

○不登校ゼロ、いじめ解消率100%

- ・不登校児童への組織的対応、欠席が気になる児童への早期対応。
- ・児童の小さな変化も見逃さず、組織で対応する(報告・連絡・相談)。

○元気なあいさつと返事、温かい言葉かけと丁寧な言葉づかいの励行

- ・「あかるく、いつも、さきに、つづけてひと言」
- ・相手に届く元気な声であいさつ・返事ができるようにする。
- ・友達への温かい言葉かけ、場面に応じた適切な言葉づかいができるようにする。
- ・呼び捨てやあだ名での呼び方をしない。
- ・児童アンケート、保護者アンケート A+B 90%以上

○縦割り班活動の充実

- ・縦割り清掃、縦割り班遊び、縦割り行事を通して、リーダーシップを育て、仲間と協力することのよさを経験させる。

○きれいな学校づくりの推進

- ・脱いだ衣服を整える、休み時間に椅子をしまう等、習慣を身に付けさせる。
- ・無言清掃(もくもくピカピカ)と「見つけ掃除」を実践する。

<たくましい子>

○体力の向上

- ・体育の授業の充実（運動量の確保、できる喜びを味わわせるための場や手立て）
- ・休み時間の外遊びの励行
- ・新体力テストの結果を踏まえた体力向上の取組（ターゲットを絞って）

○望ましい食習慣と生活リズムの確立

- ・栄養教諭と連携した食育指導 100%実施
- ・家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
- ・児童アンケート・保護者アンケート A+B 90%以上

○逆上がりの習得

- ・年間を通じて鉄棒に慣れ親しむ機会を設ける。
- ・補助板あり100%、補助板なし70%以上達成

○学校健康診断後の受診率向上

- ・虫歯治療率 100%

※1 【カウンセリング・マインド】

○カウンセリング・マインドとは…

教育相談という特別な分野のものではなく、教育の基本的姿勢として、すべての教員が持たなければならないものである。

○カウンセリング・マインドの基本的な考え方

- ・「どの児童もかけがえのない存在である」という人間尊重と「どの児童も、もっとよくなりたいという成長の動機を持った主体的な存在である」という人間信頼の立場に立つ。
- ・児童の気持ちを敏感に感じ取り、共感的に理解し、安心して何でも言える関係をつくることを大切にする。
- ・できるだけ児童が自分で気づき、自己決定できるように援助する。

※2 【ふるさと教育】

○「ふるさと教育」とは…

地域の人とのふれあいや地域での様々な体験等を通して、学ぶ喜びや充実感を味わわせ、ふるさとへの愛着と誇りを養うとともに、心豊かな人間性・社会性を育む。さらに、地域の一員として地域に貢献したり、地域を大切にしたりしようとする心を育成する。

○「ふるさと教育」を推進するために

地域の人から学ぶ

- ・地域の人とふれ合い、地域の人たちの温かさを感じるとともに、地域の人を知り、思いを知る。（できるだけ足を運び、本物の体験を）

地域について学ぶ

- ・自分たちの住む地域について学び、地域の魅力を再発見し、地域に対する誇りと愛着心を育てる。（学校応援団、自然の博物館等、地域の教育資源の活用）

学んだことを地域に生かす

- ・地域の人々の思いや生き方を学習するとともに、地域の一員として、地域のためにできることを考え、行動する。